

平成28年度 不祥事ゼロプログラム最終検証結果

実施時期	番号	課題	行動計画とその内容	執行確認	検証	評価
4月	1	業務執行体制の確保	県民の信頼に応え、全体の奉仕者として自覚して取り組むよう、「服務」に関して、注意を喚起する。	実施	○朝の打合せ及び職員会議の伝達で、「服務」及び教職員の綱紀の保持について注意を喚起した。	○事故防止会議や研修会を通じて不祥事防止の徹底を図ることができたことは、評価できる。 ○計画の時期に不祥事防止啓発資料が送付されてきたので、効果的に活用することができた。
			新着任教職員に対する校長面談を行う。	実施	○新着任教職員全員に校長面談を行った。	
5月	2	成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	成績処理支援システムに対応するため、着任教職員を対象に説明会を開催し、入力と点検手順について確認する。	実施	○着任教職員を対象に説明会を開催し、成績処理支援システムのマニュアルの周知をはかり、入力と点検手順について確認した。	○外部講師による研修会により、生徒への適切な指導について理解を深めることができた。
6月	3	業務執行体制の確保	適正な業務執行に向けた研修会を初任者及び臨時的任用職員に対して行う。	実施	○不祥事防止に関連した研修会を初任者及び臨時的任用職員に対して行った。	○人権教育校内研修会で人権意識を磨くことも不祥事防止につながるものであった。
	4	会計事務等の適正執行	「予算・会計ハンドブック」を全教職員に配付し、会計の適正執行等について確認する。	実施	○「新栄高校 予算・会計ハンドブック」により会計の適正執行等について周知徹底を図った。	
7月	5	成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	成績処理及び調査書等に関して、マニュアルに沿った作成及び点検がなされているかを担当者間で確認する。	実施	○朝の打合せ及び職員会議での伝達等により、調査書等の作成について注意を喚起した。 ○進学用、就職用調査書等を作成し、マニュアルに沿った作成及び点検がなされているかを担当者間で確認した。 ○上記の取組みにより、調査書に関する教職員の不祥事防止の意識を高めることができた。	
			啓発資料や新聞掲載記事の掲示等により、公務外非行防止を注意喚起し、公務員倫理意識の徹底を図る。	実施	○新聞掲載記事の掲示等により、公務外非行防止を注意喚起し、公務員倫理意識の徹底を図る。(10月)	
	7	業務執行体制の確保	夏季休業中の部活動における事故防止、熱中症の予防について注意喚起する。 管理職による個別面談を行い、職員一人ひとりの状況を把握する。	実施 実施	○AEDの講習会を開催し、併せて熱中症の予防や対応について研修した。 ○事故防止に関する校長面談が終了し、職員の状況を把握することができた。(8月)	
8月	8	わいせつ、セクハラ行為の防止	全教職員に啓発資料を配付し、学校におけるわいせつ、セクハラ行為の防止の徹底を図る。	実施	○教育委員会不祥事啓発資料「STOP!ザ・セクシュアルハラスメント」を配付し、わいせつセクハラ行為防止の徹底を図った。(7月)	
	9	業務執行体制の確保	外部講師による研修会を開催し、事故防止の徹底を図る。	実施	○外部講師により「生徒理解と対応」をテーマとした研修会を実施した。	
9月	10	成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	成績処理及び調査書等に関して、マニュアルに沿った適正な作成及び点検がなされているかを担当者間で確認する。	実施	○事故防止会議で調査書等の作成について注意を喚起した。(11月) ○進学用、就職用調査書等を作成し、マニュアルに沿った作成及び点検がなされているかを担当者間で確認した。 ○上記の取組みにより、調査書に関する教職員の不祥事防止の意識を高めることができた。	

10月	11	個人情報等の管理・情報セキュリティ対策	個人情報等管理・情報セキュリティ対策の注意を喚起する。また、チェックリスト等による点検を行う。	実施	○新聞記事を資料として、個人情報等の管理について注意喚起した。(12月)
	12	会計事務等の適正執行	私費会計の中間会計監査を行い、適正な経理処理に努める。	実施	○私費会計中間監査を行い、各会計が適正に処理されていることを確認した。
11月	13	法令遵守意識の向上	啓発資料や新聞掲載記事の掲示等により、公務外非行防止を注意喚起する。	実施	○公務外非行の防止について、点検表により確認した。
	14	体罰、不適切な指導の防止	啓発資料や新聞掲載記事の掲示等により、体罰、不適切指導の注意を喚起する。	実施	○適切な生徒指導について点検表により確認した。(2月)
12月	15	成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	成績処理及び調査書等に関して、マニュアルに沿った適正な作成及び点検がなされているかを担当者間で確認する。	実施	○成績処理支援システムによる適正な成績処理や調査書作成を事故なく行うことができるよう、入力及び点検手順について全体で確認した。また、科目別成績処理シート等を使用した成績処理の点検体制について確認した。 ○成績処理支援システム等の不祥事防止に関する意識を高め、不祥事防止の徹底を図ることができた。
	16	交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通事故・交通違反、酒酔い・酒気帯び運転防止に関する県啓発資料を配付し、出勤、退勤時の安全運転を喚起して、飲酒運転、酒気帯び運転防止の徹底を図る。	実施	○交通事故、交通法規の遵守について点検表により確認した。
1月	17	入学選抜に係る事故防止	適正な入学選抜の実施に向けて、県啓発資料等を配付し、入学選抜における不祥事防止について注意喚起する。	実施	○適正な入学選抜の実施に向けて、研修会を実施した。
	18	成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	成績処理及び要録、調査書等に関して、マニュアルに沿った適正な作成及び点検がなされているかを担当者間で確認する。	実施	○成績処理支援システムによる適正な成績処理や調査書作成を事故なく行うことができるよう、入力及び点検手順について全体で確認した。また、科目別成績処理シート等を使用した成績処理の点検体制について確認した。 ○成績処理支援システム等の不祥事防止に関する意識を高め、不祥事防止の徹底を図ることができた。
2月	19	会計事務等の適正執行	「予算・会計ハンドブック」に基づき、会計の適正執行等について確認する。	実施	○「新栄高校 予算・会計ハンドブック」に基づく会計の適正執行等について確認した。 ○上記の取組みにより、教職員の会計に関する不祥事防止への意識を高めるとともに、適正な会計処理に対する理解を深化することができた。
3月	20	業務執行体制の確保	年間を通じた行動計画の検証と評価を行う。	実施	○課題における行動計画と内容について年間を通じて学校として組織的に取り組み、事故の未然防止に努めた。